

報道各社 御中

令和3年6月22日
大阪体育大学広報室

東京パラリンピック競泳女子 宇津木美都（教育学部1年）が日本代表に内定

大阪体育大学水上競技部女子の宇津木美都（うつぎ・みくに）選手（18）＝教育学部1年＝が東京パラリンピックの日本代表に正式に内定しました。

宇津木選手は5月21～23日にあったジャパンパラ大会の100m平泳ぎ（SB8クラス＝四肢の一つの一部欠損など）予選で世界ランキング10位に相当する1分30秒07をマークし、障害の程度を決めるクラス分けが終わっていないため、保留条件付きの内定となっていました。

その後、ドイツで行われた障害の国際クラス分け検査を受検して出場資格を満たし、正式に代表入りが決定しました。



宇津木選手は3歳から水泳を始め、京都市立洛北中学入学後、本格的に競泳に取り組みました。2017年パラ競泳日本選手権50m平泳ぎでアジア新記録、2018年アジアパラ大会100m平泳ぎで金。京都文教高校時代は記録が伸びず挫折も経験しましたが、小学校教員になる夢の実現と水泳の両立を果たすために今春、本学教育学部に入学し、復調を果たしました。

本学から過去の大会も含めてパラリンピックに出場するのは、陸上男子走り幅跳び銀メダリストの本学客員准教授・山本篤選手（新日本住設）以来になります。

※宇津木選手大学HP関係記事

<https://www.ouhs.jp/news/2021-05-26-18821/>

<https://www.ouhs.jp/news/2021-06-03-18929/>

【大阪体育大学広報室】

大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1 TEL072-453-7021 FAX072-453-8818
担当・大坪、小崎 koho.users@ouhs.ac.jp